

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 7 月 24 日 (2014.7.24)

【公開番号】特開 2012-252294 (P2012-252294A)
 【公開日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-054
 【出願番号】特願 2011-127022 (P2011-127022)
 【国際特許分類】

G 0 2 F 1/167 (2006.01)

G 0 9 F 9/37 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/167

G 0 9 F 9/37 Z

G 0 9 F 9/30 3 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 6 日 (2014.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対向配置された第 1 基板および第 2 基板と、
 前記第 1 基板の前記第 2 基板側に設けられ、前記第 2 基板側の表面に第 1 凹部および前記第 1 凹部よりも深さが浅い第 2 凹部を有する絶縁層と、
 前記第 1 凹部および前記第 2 凹部を除く前記表面に設けられた反射板と、
 前記第 1 凹部の底面に設けられた第 1 電極と、
 前記第 2 凹部の底面に設けられた第 2 電極と、
 前記第 2 基板の前記第 1 基板側に設けられた第 3 電極と、
 前記第 1 基板と前記第 2 基板との間に充填された、前記反射板とは異なる色を有する電気泳動粒子が分散媒に分散してなる分散液と、を備えることを特徴とする電気泳動表示装置。

【請求項 2】

前記第 1 電極と前記第 2 電極とが電氣的に接続されていることを特徴とする請求項 1 に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 3】

前記第 1 基板には、
走査線と、
前記走査線と交差するデータ線と、
前記データ線と、前記第 1 電極および前記第 2 電極とを電氣的に接続するトランジスタとが設けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 4】

前記第 1 電極は、前記第 1 凹部の側面に沿って前記第 2 基板側に伸びる側面部を有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 5】

前記第 1 凹部は、平面視で間隔をおいて前記第 2 凹部を取り囲むように前記絶縁層に配

置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 6】

前記第 2 凹部は、平面視で間隔をおいて前記第 1 凹部を取り囲むように前記絶縁層に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 7】

前記第 1 凹部と前記第 2 凹部とは、平面視で一定の間隔をおいて前記絶縁層に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 8】

前記絶縁層に設けられた、前記第 1 凹部および前記第 2 凹部の総容積よりも、前記分散液中の前記電気泳動粒子の総体積が小さいことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 9】

前記第 1 基板と前記第 2 基板との間に充填された前記分散液を含む電気泳動層を複数の領域に区画する隔壁を備え、

前記複数の領域の各々に対応して、前記第 1 電極および前記第 2 電極がそれぞれ一つ以上設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置を備えることを特徴とする電子機器。